



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

夢をかたちに

CONTENTS



2008-09 年度 R I 会長
李東建



ガバナー 勝野 露観

1. ガバナーメッセージ	1~6
2. 国際大会へのお誘い	7
3. ガバナー補佐を務めて	8~10
4. 地区委員会報告	11~15
5. 日韓親善会議のご案内	16
6. 新入会員紹介	17
7. 訃報	18
8. ポールハリスフェロー・米山功労者（3月分）	19
9. ハイライトよねやま	20
10. ロータリー文庫	21
11. 出席報告（3月分）	22
12. 5月行事予定表	23

2008-2009

5

NO.11



国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2640地区
ガバナー 勝野 露観

地区内の各クラブの会長・幹事さん！ロータリアンの皆さん！そして、この月信を読んで下さっているロータリアンで無い読者の皆さん！いよいよ5月に入りました。

光陰矢の如しと昔から言われておりますが、この頃、切々とこの言葉の言う所が身にしみてわかる年齢に私も成ってしまいました。50代も月日の経過の早さに驚いたのですが、60才の一線を越えると、50代よりも、もっとスピードアップして歳月が私の前を通り過ぎていく実感があります。特に私の場合、昨年の7月にガバナーに就任して以来と云うもの、ロータリーに追いまわされておりました、与えられたスケジュールを消化するのが精一杯でした。まさに、たっぷりロータリーに浸りこんだ月日でありました。今迄、つまりガバナーになる以前は、私は大阪府和泉市にある和泉RCの一員でありまして、近隣のクラブの事など全く関心に無く、ましてや遠方にあるクラブの事などは論外でありました。和歌山県のRCの存在など脳裏の片隅にもありませんでした。ところが、ガバナーになりますと、地区全体を、即ち大和川以南、和歌山全県のロータリーを眺める高みに立ちますので、自然と今まで意識しなかった遠方のクラブの事を考えるようになります。大處高處に立つと云う言葉の意味がわかる様に成りました。ロータリーと云う巨大な、世界的な組織の大きさも実感したのです。ガバナーになると、地区外との交際もあります。日本中のガバナー達との交流が生れて来ます。他地区の状況、経済状態も手に取る様にわかる様になり、人脈が驚く程のスケールで拡大していくのです。ガバナーはエレクト・ノミニーの時から地区内のあらゆる行事・委員会の行事に出席依頼がまいります。当然その委員会の活動とその状況を知るようになります。身体で覚えさせられるのです。とてもハードなスケジュールにきっちり当てはめられてしまいます。こう云う制度を考案した人々の頭のすごさが納得出来ます。100年以上の歴史を持つロータリーの大きさを身にしみて知りました。

さて、先月の地区大会に御出席頂きまして有難う御座いました。とここまで書いて事を置きます。毎月月信を書くのが遅れがちであり、事務局の女性にいつも催促されております。だいたい月の中頃を過ぎて20日頃になると次の月信を書かねばならないのです。この月信を読者の皆さんがお読みになるのは5月の最初頃でしょう。しかるに書いている私はと言いますと、今日は4月の20日(月)です。マァ！こう云う事情でありますので、お察し下さい。地区大会はこの25日(土)26日(月)でありますので、まだ始まっておりません。まだ始まっていない地区大会

に御出席ありがとうございます！？とは言うのは、大きな抵抗がありますので、お礼は6月号の最終号にさせていただきますので悪しからずご了承下さい。

ガバナーと云う立場におりますと、今迄考えもしなかったR Iと云う存在が嫌でも目に入ってくるのです。そして、ガバナーを辞して、パースト・ガバナーに成った人達の組織が大きく目の中に入ってくるのです。1 会員であった時は、全然知らなかった組織であります。このパースト・ガバナー達の集まっておる組織が日本のロータリーを影から強い影響を与えておりました、現役のガバナーに強烈な圧迫と云いますか、影響力を行使しておるのが現状です。高齢のプライドの強いロータリアンの集合体。これが今のロータリーの方向づけをしておるのです。素晴らしい見識と体験を持った方が殆どであります、悲しい哉、自然の摂理として、時代に対する対応能力と変化力に鈍くなっておりまして、適切に対応出来なくなっています。改革が出来ないので。ロータリーはスクラップ アンド ビルド出来ないと言われておりますが、こう云うところにも原因の一端があるのでしょうか。ロータリーの理念、思想、ロータリーの綱領はすばらしいのですが、これはトップになった人達の為の心備へでありまして、否、本当のトップとなる事を夢見ておる人達の心備へでありまして、トップになる、プロフェッショナルになる事を考えていない人達にとっては、なかなかむつかしい心備でしょう。ロータリアンの中には様々の業界から入会して来ておる会員がそれこそ山ほどおります。ピンもおればキリもおります。その人達をまとめて行かねばならぬのが会長・幹事さん達です。なにせ、ロータリアンのほとんどが、人を使う立場に在りまして、人から使われた事が無いと云う人が多く、人を使う立場に在りますから、なかなか動きません。動くのは自分で無くして、従業員が動くものだと云う意志が潜在意識の中に在りますから、なかなか動きません。プライドと誇りを持っておる人達ばかりですから、指示する方がリーダーが、余程尊敬をしておるか、高い地位についておるか、で無いと動く事をしない人が多いのです。こう云う人達を行動に移させるには、奉仕活動を共にしてもらうのが一番です。共に汗をかき、感動を体験してもらう事によって、彼等の中に在る青春時代の記憶を呼び覚まし、若いエネルギーを再生させるのです。又た、現役の社長を務めておるロータリアンも沢山います。性格がなかなか良い、愛情もある、思いやりもある、奉仕活動も進んでやっておる、しかし、社会は仕事がストップして、にっちもさっちも行かなくなっておる。現実の大不況のせいで、急激に仕事の量が激減してしまい、従業員に給料を払うのに四苦八苦しておる。特に製造業が大変です。どう対応したら良いのか、さっぱりわからない。ただ景気が早く良くなるのをひたすら待っておるだけです。取引先よりの注文が無いのですから～。こう云う会員が多いのです。

ロータリーの綱領は仕事がある時に役立つのですが、仕事が無い時にはどうしたら良いか、何も書いておりません。困った時、冬の時の対処は既に秋から開始しておかねばなりません。イソップ童話の「蟻とキリギリス」の話に書いてある内容と全く同じ事が今の世の中に、至る所に見られるのです。夏と秋にさんざん遊びまわって何の貯えもしていなかったキリギリスが馬鹿にしていた蟻に助けられると云う話です。

幸い私は、寺の住職であり、且つ倒産しかかっておる会社のトップの相談にのって、様々と

アドバイスをしたり、直接会社の経営に参画した経験が沢山あります。また、人々の悩み相談にのるのが、私の職務の内容の一つです。弁護士や会計士、コンサルタントならば金をもらってやるので、ビジネスですが、私の場合はお金をもらいません。無料奉仕です。それだけに金にまつわると人間がどの様に本性を出すか、嫌と言う程見て来ました。お金をもらわないのですが、言った事に責任がありますので、常に相手の事を考える習慣が身につけておられます。ただ普通の人達と違って有難いのは、一般の人達のほとんどが、お金や地位や財産が神様ですが、私の場合は本当の神仏が神様なので、その点、気が楽であります。若い頃から、必死で修行してまいりまして、今でも毎朝神仏に祈りをささげると云う生活をしておりますから、ストレスが心に溜まりません。気持ちを切り替えるのが楽に出来ます。ここで皆さんに良い事を伝授します。武士の心構えの一つです。

皆さん！ためしにやってみて下さい！朝日に向かって祈り、深呼吸をして朝日より出る光を吸ってみて下さい！そして太陽に向かって言葉に出して言ってみて下さい。『どんなに苦しくとも、いつも明るい笑顔と笑みを忘れません！』『私に生きる勇氣と力をお与え下さい！』と。これを四方礼拝と言います。四方礼拝と云うものが古来より日本の武士道達の間で、さかんに実践されてきました。朝、東西南北の神々をおがむのです。朝日に向かって祈り、そして四方を礼拝するのです。それが終わったら真剣を抜いて四方の邪気を烈迫の気合と共に切り払うのです。真剣が無かったら木刀でもけっこうです。気持ちがしゃっきとしてファイトと気力が身体より湧き出てきますこと受け合います。

続き

【社会奉仕に関する 1923 年の声明】決議 2 3 - 3 4 の本文

先月号(4月号)に決議 2 3 - 3 4 の声明を記述しました。その続きを少し書き進めます。今回は R I (国際ロータリー)について述べてある所から始めます。

3) RI is an organization that exists

- a) for the protection, development, and worldwide propagation of the Rotary ideal of service;
 - b) for the establishment, encouragement, assistance, and administrative supervision of Rotary clubs;
-

3) 国際ロータリーは次の目的のために存在する団体である。

- a) ロータリーの奉仕の理想(奉仕の理念)を擁護し、育成し、そして全世界に普及させる。
- b) ロータリークラブを設立し、激励し、援助し運営の管理をする；

① R I の第 1 の目的はロータリーの綱領、ロータリーの奉仕の理想を最も大切にし、それを全世界に広げる事を任務としているのです。

②第2の目的は、ロータリークラブを設立し、育て、援助しその運営の仕方を指導するのです。

この第1、第2の目的が本来のR Iの目的であります。しかるに現実のR Iはこの義務と責任をはたしておるのでしょうか？第2の目的にそって、クラブ拡大をR Iは進めてまいっておりますが、育て、援助しておるのでしょうか？

c) as a clearing house for the study of their problems and, by helpful suggestion but not compulsion, for the standardization of their practices and of such community service activities, and only such community service activities, as have already been widely demonstrated by many clubs as worthwhile and as are within, and will not tend to obscure, the Object of Rotary as set out in the RI constitution.

c) R Iは各クラブの様々の問題を研究し、学ぶ為の情報交換所として存在する団体である。そして、有益な助言をなし(決して)強制的でなく、各クラブの実践と運営方法の標準化を図り、社会奉仕活動の標準化(スタンダード化)を図るのです。この社会奉仕活動は、既に広く多くのクラブによって、その社会活動の価値が実証されており、国際ロータリーの定款に掲げられているロータリーの綱領の趣旨にかなっていて、この綱領を乱す恐れのない社会奉仕活動のみを標準化せんとするのです。

これはR Iの業務と行動について記述しておるのです。

この文中にある not compulsion が肝心であります。強制的でなく、有益なサジェスションを与えるのがR Iの手法なのです。そして、clearing house 情報を交換する組織でもあるのです。

4) Because they who serve must act, Rotary is not merely a state of mind, nor Rotary philosophy were subjective, but must transrate itself into objective activity; and the individual Rotarian and the Rotary club must put the theory of service into practice. Accordingly, corporate action by Rotary clubs is recommended under the safeguards provided herein.

4) 人々に喜びを与えんとして奉仕する者は行動に移さなければならないが故に、ロータリーは単に心構えを言っておるのではなく、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならないのです。そして、個々のロータリアンとロータリークラブは奉仕(サービス)の理論を実践に移さなければならない。よって、ロータリークラブによる団体的行動は、次の様な条件の下に行うように勧められておるのです。

これは各ロータリークラブは、本来 I service が原則であるので、団体的行動をするのは以下の条件の下にのみ行動に移すようにと勧められているのです。

It is desirable that every Rotary club sponsor a major community service activity each fiscal year, varied from year to year if possible, and to be completed if possible before the end of the fiscal year. This activity is to be based upon a real community need and should require the collective cooperation of all its members. This is to be in addition to the club's continuing its program for the stimulation of the club members to individual service within the community.

各々のロータリークラブは毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それもなるべく毎年度異なっておって、出来ればその会計年度内に完了出来るような社会奉仕活動を後援する事が望ましいのである。(単年度の社会奉仕活動で主だった一つの活動をするように)。この奉仕活動は「地域社会が本当に必要としている物」に基づいたものであり、且つクラブ全員の一致した協力を必要とするものでなければならないのです。これは、クラブ会員の地域社会における、個々の奉仕を奨励せんとして、クラブが継続的に実践しているプログラムとは別に行われる可きであります。

各ロータリークラブの社会奉仕活動のある可き姿について記述しています。

- (1) 単年度で、主だった一つの社会奉仕活動
- (2) 地域社会が本当に必要としておるものであって、クラブ会員全員の一致した協力を必要とするものでなければならない。
- (3) 地域社会に於いて、クラブ会員が個々に奉仕するようにと、継続的に実践しておるクラブのプログラムとは、別に行われなければならない。

次が最も R I で問題視しておる箇条であります。R I がポリオプラスの問題を全世界レベルで圧倒的な手法で押し進めようとする上で、最も邪魔となる箇条なのです。

社会奉仕活動の上で、クラブの持つ自主権・自治権について記述してあるのです。

5) Each individual Rotary club has absolute autonomy in the selection of such community service activities as appeal to it and as are suited to its community; but no club should allow any community service activity to obscure the Object of Rotary or jeopardize the primary purpose for which a Rotary club is organized;

5)各々のロータリークラブは、クラブとしての関心があり、且つその地域社会に適した社会奉仕活動を自主的に選ぶ上で、絶対的な権限を持っておるのです。

しかし、いかなるクラブも、ロータリーの綱領を無視し、ロータリークラブの結成の本来の

目的を危うくする様な社会奉仕活動を行ってはならない。

and RI, although it may study, standardize, and develop such activities as are general and make helpful suggestions regarding them, should never prescribe nor proscribe any community service activity for any club.

そして、国際ロータリー(RI)は、一般的な奉仕活動を研究し、スタンダード化し、推進して、これについて有益なサジェスションを与える事があっても、如何なるクラブの如何なる社会奉仕活動であっても、其れを命じたり禁じたりする事は絶対にしてはならないのです。

以下の項目で、様々と社会奉仕活動を実践する上で注意する事が記述されています。ここは広報について述べられておる箇所を取り上げて終了させていただきます。

c) ロータリークラブが奉仕活動を選ぶ場合に宣伝をする事をその主たる目標としてはならないが、ロータリーの影響力を拡大する一つの方法として、クラブが立派に遂行した有益な事業については正しい広報が行われる可きである。

以上、決議23-34について書き進めてまいりました。どうですか！？御理解頂けたでしょうか？何故、決議23-34と、言っておって大切にしているかが納得して頂けた事と思います。今まで、このガバナー月信でロータリーに関する事、ロータリアンとして大切にしなければならない事について書いてまいりました。今までのガバナー月信とは少し違った観点から書いてみました。勿論、ガバナーの参加した地区の様々なプログラムや地区の活動について皆さんにお知らせする事も大事であります。しかし、今のような大変な危機的状況下にある日本にあって、ロータリアンはいかなる考えと理念をもって、生きて行かねばならないかを主として考えてまいりました。この任務は本来は、RIのすべきものでありましょ。ロータリーはどんどん奉仕団体化しております。しかし、ロータリーの綱領に記してある「品位と品格を重んじ、真の指導者としての道を進まんとする」ロータリーの王道を忘れては、ロータリーはロータリーで無くなるのでありましょ。

世の中はどんどん悪化し、人心もどんどん、すさんでまいっております。こんな世の中になればなる程、私達ロータリアンはロータリーの綱領の価値の素晴らしさをよく味わって、人間として思いやりと厳しさを兼ね具えた、レベルの高い魂の持主に成長して行く事を、現実生活の中で実践して行かねばならないのでしょ。皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

以上

国際大会へのお誘い

オン・ツウ・バーミンガム委員会
委員長 南出 正太郎 (和泉RC)



2009年バーミンガム第100回国際大会は100回の記念すべき国際大会であり、国際ロータリーをあげて盛り沢山の行事が用意されております。また、今年度初めてクラブ会長と会長エレクトに対して6月22日(月)午後2時から3時まで開催されます「クラブ会長の特別サミット」のご招待状がまいりました。

第100回国際大会の開催地になりますバーミンガムですが、1984年に1度国際大会が開催されておりました、今回が2回目の開催になります。1回目開催の1984年当時は産業都市であったのですが1990年代に目覚ましい変革を遂げ、今では現代的で歩行者に優しく、一流のショッピングや食事が楽しめる運河都市として知られるようになっていきます。バーミンガムは地元では「プラム」の呼称で親しまれており、中世期や産業革命の名残もとどめています。是非、2009年第100回国際大会にご参加戴きまして、歴史の一頁を刻んで戴きたくお願い申し上げます。

2009年第100回国際大会は2009年6月21日(日)～6月24日(水)開催でございます。ジャパンナイトでございますが、6月20日(土)夜、ハイアットリージェンシーバーミンガム イングランドにて開催致します。

08-09 ガバナー補佐を経験させてもらって



I M6 組 岸和田 R C 大工 貞晋

I M6 組 の泉佐野以南の 5 クラブ

泉南、阪南 りんくう泉佐野、関西国際空港、泉佐野ロータリークラブの皆様と一緒にロータリーについて勉強させてもらいました。各クラブにお役に立たなかった点はお詫びします。

日頃経営者の端くれに居て企業の存在感を重視する者として、日本ロータリーの社会的存在意義が凋落して行くことに危機を感じています。

1. どの組織でも伝統、歴史の長さだけに頼れば衰退期を経験します、変革の努力と適度の緊張感、明確な目標が無ければ……。
2. 世界の R C 特に R I の方向と日本 R C の方向性にギャップを感じるのは私 1 人だけでしょうか。
3. 地区も、各クラブも努力しています。勝野ガバナーは師事するに相応しいリーダーです、代表幹事はじめ皆様獅子奮迅の活躍です、頭が下がります。

各クラブの皆様には、泉南のロータリー理論と実践、阪南の一体感と 25 周年、りんくう泉佐野のまとまりと世界社会奉仕活動、関西国際空港の空港内でのロータリー活動広報、泉佐野の I M、等々。すべてロータリーの素晴らしさ教えてもらいました。

各クラブの努力がなぜ大きな増強には繋がらないのでしょうか。

補佐を経験させてもらって、これまではロータリーの持つロータリー綱領や職業奉仕、四のテストに表記される、道徳的側面への信望者を自負してきましたし、これからも拠所ですが、それだけで若い人達にロータリー魅力を訴えることが出来るのか新しい悩みが出来ました。

たかがロータリー、されど私が愛するロータリーです。

ガバナー補佐を務めて



IM5組 富田林南 RC 岩本 行弘

「ガバナー補佐の役割は、地区内で指定されたクラブのクラブ運営に関連する管理業務に関してガバナーを補佐することです。また、ガバナー補佐は、クラブと地区、および国際ロータリーの間の中継点としての役割を果たします。クラブから幅広い事柄について、助言や指針を求められた場合に必ずしも全ての答を知っている必要はありませんが、その答を探す方法を知っておかなければなりません。」などの解説から、ガバナー補佐の責務と輪郭が見えてきました。

その重要な責務を遂行するためには、言うまでもなく豊富なロータリーの知識が必要になってきます。私は20年のロータリー暦で、今年度ほどロータリーの勉強をしたのは初めてです。ガバナー補佐に就任して以来、全てのクラブ委員長会議に出席したお陰で、各委員会の活動方針、内容を学ぶことが出来ました。その会議の内容が各クラブの委員会活動に、どのように反映されているのか、大変興味を持ってクラブ協議会に臨みました。結果はまちまちでしたが、各クラブは委員会活動を充実させ、クラブ活性化に真剣に努力しておられる様子をうかがうことが出来ました。

ガバナー補佐として、各クラブを訪問し活動内容を見聞させていただきましたが、一方自分のクラブと比較してみて、大変参考になることが多くありました。これは私自身にとっても私のクラブのとっても大きな収穫だったと思います。多忙な一年ではありますが、得ることが多く、勉強する良い機会を与えて頂いたことに感謝しております。

ガバナー補佐を経験させていただいて



IM6組 岸和田 RC 大賀 祐造

2007年12月に次年度ガバナー補佐研修会が開かれたのを皮切りに、現在まで地区・IMレベルの大会、会議、研修会に数多く出席させていただいた。その回数は1984年のロータリークラブ入会以後出席した同様の会合の数を凌駕する。さらに入会以後メーカーとして1回だけ他クラブ訪問をただけであった自分が、担当の6クラブを義務とはいえ訪問することは新鮮な感動であった。今まで漫然と見過ごしてきた事柄を、広い範囲のロータリアンとともに手続要覧を片手に勉強できたことは何者にも変えがたい経験であった。クラブ訪問、会議出席を通じて多くのロータリアンと接することによって、ロータリーにはまだまだ底知れぬ奉仕への情熱と行動力が赤々と燃えていることが実感され、頼もしい限りであった。今年度も押し迫ったとはいえ、地区大会、国際大会と重要な行事が続く。最後まで任務を全うするべく、努力したい。

最後にガバナー補佐、地区委員のような役職には出来るだけ若い会員を任命し、ロータリーの広がりや国際性を実感していただくことがロータリーの活性化に最短の道ではないかと思うこの頃である。



R. I. D. 2640 世界社会奉仕委員会のWCS 視察報告

国際ロータリー第2640地区 世界社会奉仕委員会
委員長 中野 一郎

地区WCS委員会では、今年度を実施する当地区のプロジェクトで、8クラブ(堺フェニックスRC、新宮RC、りんくう泉佐野RC、有田2000RC、御坊南RC、御坊東RC、田辺東RC、海南東RC)が合同で実施する国際ロータリー3860地区のフィリピン共和国のセブ島のWCS支援プロジェクトの検証のため、4月2日から6日までの日程で視察に赴きました。また、同地区には、昨年の平原PDG年度で支援した「100万本のマングローブ植林プロジェクト」の経緯もあり、その検証も兼ねる海外視察となりました。視察には、平原PDG、小嶋PDG、地区WCS委員会のメンバーと各クラブでWCS支援を行う、堺フェニックスRC、新宮RC、りんくう泉佐野RC、有田2000RC、御坊東RC、海南東RCのメンバーが参加するほか、海南東RCの姉妹クラブである台湾・彰化東南RCから4人のメンバーが合流し、総勢20名が参加しました。視察は、終始ハードスケジュールでしたが、多くのWCSプロジェクトを検証することができました。そして、フィリピンが抱えている数えきれない問題や現状を改めて再確認するとともにロータリーが実施するWCSの必要性と支援のあり方について、自分たちが直接、見聞きし、肌で感じることで再認識しました。そして、今回も沢山のことを学びました。

4月2日

[行程及びレポート] 到着日

朝、関西空港を出発し、マニラ空港を経由し、夕方、フィリピン・セブ島のマクタン空港に到着。早速、3860地区の歓迎例会に出席しました。歓迎例会には、今回のプロジェクトに関係する同地区の全てのロータリークラブが参加し、昨年のWCS活動の報告を受けました。特に3860地区のユミPDGと当地区の平原PDGが固い握手で再会を喜び、両地区の友好の契りを交わしたほか、それぞれのWCSパートナークラブへ支援の証と支援金を手渡し、プロジェクトの成功と資金の有効活用を要請いたしました。例会は終始、ロータリアン同士の友情によって盛り上がり、笑顔の記念写真となりました。終了は、23時30分。

4月3日 視察1日目

[行程及びレポート]

AM8:00 出発。参加メンバーが3860地区のメンバーの5台の車に分乗し、最初にBrgy Basakのデイ・ケアセンター(スラム街の託児所)へ向いました。貧困に喘ぐ多くの住民の生活を支援するため、母親が就業する間、RCC(ロータリー共同体)のボランティアの人達が小さな子供たちを世話します。周辺環境は悪く、施設は小さな古い木造の小屋で3~6歳位の子供たちがひしめいていました。保母さんは無給で勉強を教えたり、食事の世話をしています。このプロジェクトは、ロータリーの支援だけで成り立っているとのことでした。



この後、Gon-ob 地区の同じようなデイ・ケアセンターを2箇所、Cordova 地区の小学校を視察。状況は何れも悲惨でした。デイ・ケアセンターでは、建物や設備は簡易で机や椅子は手作りでした。さらに、小学校では給水タンクやトイレ設備の改修、図書室には本が足りないなどの多くの問題点を聞きました。また、私たちは、手分けして多くの文房具やお菓子などを持っていきましたが、一人一人に手渡せるだけの数がなく、やむなくまとめて先生に託したところです。午後からは、貧民地区の水プロジェクトで、井戸の改修や新たな井戸や給水設備の整備プロジェクトを視察。セブのマクタン島は地質が珊瑚の隆起や岩盤でできているため、井戸掘りは大変とのこと。しかも手掘りです。水脈も乏しく湧き水を貯水しているようでした。また、水質も悪く、井戸の蓋が無いので危険です。しかも、バケツの紐を引っ張って水を汲んでいます。手動式のポンプがあるのはマシな方でした。



次に視察したところは、Polpogan 地区の小さな子供たちへの食事支援プロジェクトでした。マンダウエ・ノースRCが支援している貧民街の集落です。栄養の必要な育ち盛りの子供たちへの食事支援ですが、資金の関係で月に一度だけしか行えないとのことでした。私たちが訪れた時は、同RCのローターアクトの皆さんが早くから、大きな鍋、三つにお粥の炊き出しをし、テントで待機していました。後で聞くと、丁度、その頃、スコールがあり、そんな中でずっと私たちの到着を待っていてくれたそうです。そして、私たちは交代で行列の絶えない子供たちに一人ずつ、お粥をそれぞれの子供たちが持参した食器に入れてあげながら、配り続けたのですが、途中で涙がこぼれてきました。子供たちの身なりや幼い弟や妹の手を引きながら小さな食器を差し出す姿に接し、これまで見た全ての背景が浮かんできました。フィリピンの暑い気候と良くない衛生状態。水、教育(識字)、飢餓、貧困、環境問題、深刻化する人口問題と医療、ストリートチルドレン問題 etc・・・です。この集落は、小さなバラック住宅が密集する中で、多くの住民が暮らしています。キッチンやトイレ、風呂も無く、狭い路地で焚き木での炊事やタライでの洗濯。野ざらしのゴミや流れない汚水。数え切れない問題点。どうすればいいの?でした。こうした中で、最低限の改善策として、以前、地元のロータリーが作った集合トイレも見せてもらいました。私たちは、これまで、何度かこのようなスラム街を視察しましたが、表面だけしか見えていなかったのかもしれませんが、本当の生活実態と街の裏側は、もっと悲惨な状況だと思えます。こうした劣悪な生活環境からくる病気、犯罪や売春問題など数え切れません。ロータリーでは、とりあえず、できることからして、こうした地域への中古救急車や消防車の配備が今回のWCSプロジェクトに盛り込まれています。



次に最後の視察したところは、小学校の軒先や道沿いの小さな空き地を借りて、野菜作りをするといった「ロータリー菜園」でした。セブでは、もともと農地が少なく住民はビタミン不足の食生活であるためとのこと。ロータリーでは、これまで、野菜作りの指導や水耕栽培などの取り組みをしていますが、絶対量を満たせません。住民へ



次に最後の視察したところは、小学校の軒先や道沿いの小さな空き地を借りて、野菜作りをするといった「ロータリー菜園」でした。セブでは、もともと農地が少なく住民はビタミン不足の食生活であるためとのこと。ロータリーでは、これまで、野菜作りの指導や水耕栽培などの取り組みをしていますが、絶対量を満たせません。住民へ



次に最後の視察したところは、小学校の軒先や道沿いの小さな空き地を借りて、野菜作りをするといった「ロータリー菜園」でした。セブでは、もともと農地が少なく住民はビタミン不足の食生活であるためとのこと。ロータリーでは、これまで、野菜作りの指導や水耕栽培などの取り組みをしていますが、絶対量を満たせません。住民へ

次に最後の視察したところは、小学校の軒先や道沿いの小さな空き地を借りて、野菜作りをするといった「ロータリー菜園」でした。セブでは、もともと農地が少なく住民はビタミン不足の食生活であるためとのこと。ロータリーでは、これまで、野菜作りの指導や水耕栽培などの取り組みをしていますが、絶対量を満たせません。住民へ

のアピールの一環として、行っているようです。この後は、今日の視察に関係したロータリーの皆さんとの夕食交流会で、引き続き、交流を図りました。終了は、22時。

4月4日 視察2日目

[行程及びレポート]



AM8:00 出発。世話役のマンダウエイストRCの他、3860地区のロータリアンの方々の案内で、マングローブの苗木プラントのある NAGA City へと視察に向かいました。マングローブは、沿岸地域の環境を守る重要な役割を果たしている訳ですが、エビの養殖用生簀、塩田、炭の生産、工業地への転用などの理由で伐採され、近年その面積は減るばかりで、セブ島に残るマングローブの森も少なくなっています。繁殖している沿岸住民はおもに漁業を生業としており、森の減少とともに



年々その収穫量も落ち込み生活の糧を失い貧困に喘いでいます。南へと車を走らすこと約40分で海岸沿いの村へと到着し、苗木を育成しているプラントを視察。ここでは、マングローブの苗木を約3ヶ月の間、一本毎に鉢植えにし、苗床で育成、葉が三枚になると海に植林するという作業を繰り返しているそうです。苗木の育成と管理には、地元の漁師さんや村民が中心となり行われておりすべてボランティアで運営されています。我々は20センチ程の苗木を鉢植えする作業を体験させていただき、その後すぐそばの海岸を視察することになりました。以前はマングローブが群生していたであろう海岸線は、その伐採によりかなり侵食されており、岸から先10メートル位までは青い海が茶濁していたのが印象的でした。さっそく育成されたマングローブの苗木を、その海岸の砂浜へ植林するという作業をした訳ですが、一度失った自然が元に戻るには、かなりの時間と労力が必要であることを痛感いたしました。この植林プロジェクトは、ある程度の継続性が必要であるとの認識で、3860地区内においては各クラブが共同体として取り組んでおります。2640地区

内の各クラブのさらなる支援を期待したいとの要請をもらいました。NAGA City での視察を終え、今度は北へと1時間30分程度の移動時間で Liloan という町に到着。海沿いのリゾート施設で熱烈な地元ロータリアンの歓迎を受け、合同の昼食会となり、市長の Duku Frasco さんからも歓迎を受けました。この後、昨年、海南東RCが支援した障害児に対する中古車椅子の贈呈式が執り行われました。一人一人試乗して、身体にあう車椅子を選んでもらう訳ですが、障害の程度により乗れない車椅子があったり、また、用意され



た車椅子の台数より子供の数の方が多くなり、困りました。ただ、参加された母親、子供たちは全員笑顔でした。今回寄贈できなかった子供たちには、次回、支援をできるように地区内クラブにお願いしたいと思います。その後、マングローブ関連の視察先をもう一カ所視察し、海岸で植樹活動を行いました。時間はもう夕方です。視察終了後は大急ぎで支度し、セブ市内の友好合同例会の会場へ。マンダウエイストRC、マボロRCが中心となり、関係の地元クラブが歓迎してく

れました。特にローターアクトのメンバーによる演奏、歌、ダンスなどもあり、おおいに盛り上がり、お互いの好意と友情を深める例会となりました。また、この席では、今回マングローブの植林プロジェクト支援として、新宮RC、堺フェニックスRC及び2640地区からの支援金を小嶋PDGによって手渡しました。終了は、23時。

4月5日 視察3日目

[行程及びレポート]

AM10:00 出発。ロータリアンの案内で貧民街にある施設を訪問しました。この施設では働く母親のための幼児の一時預かり保育、病院に行けない人々の医療サポート、障害者に対する就労支援、子供たちへの給食支援などが行われており、運営費はロータリークラブと地元の教会より捻出されているとの事です。市からの援助はわずかな金額で、すべてのスタッフは教会の司祭さんを中心としボランティアによるものです。建物はかなり老朽化が進んでおり、床も傾いているとかで、このままでは危険な状態でした。特に就労支援のために10歳位の耳の聞こえない少年が縫製作業を一生懸命にする姿が印象的に残りました。



次にマボロRCとマンダウエイストRCが支援している貧しい人々の為の、フリー・メディカル・クリニックの視察へと移動。ここはかなり劣悪な環境の地域の中心にあり、車を降り

ると砂埃と異臭が漂うという場所でした。ちょうど子供たちの給食の時間で、食器にそれぞれ一杯ずつのオートミールのような食事(おかずはありません)が配られ、お祈りの後、おいしそうに食事していました。ちなみにこの給食は1人前が10ペソ(約20円)らしいです。このクリニックでは学校に行けない子供たちの為に識字教育などもされており、ただ単に食事を提供する場所ではなく勉強しないと給食が与えられないシステムになっているそうです。以前に海南東RCが寄贈された中古パソコンが2台設置されており嚴重に管理され、非常に大事に使用されています。子供たちの笑顔に見送られ、次に向かったのはセブ市内にあるマンダウエRCの例会場。



ここでマンダウエRCとの友好例会が開催されました。このクラブには昨年東京RCクラブから移籍された日本人ロータリアンが在籍されており、セブ島の最近の情勢について詳しく説明を受けました。マンダウエRCでは社会奉仕事業として今年度、地元小学校の上水道のインフラ支援を計画しており、総額60万ペソのうち30万ペソが用意されているが残りについて(約60万円)を日本のロータリークラブでWCS事業として支援いただけるクラブがないものだろうかという相談を受けました。日本語の通じるロータリアンも在籍しておりますので、コミュニケーションも心配ないと思いますので、メールでリクエストがあれば、支援クラブを探しましょうと例会場を後にしました。この日も地元RCのお世話で友好夕食会が設けられ、更なる友情を深めました。

4月6日 帰国日

連日、炎天下の中でハードなスケジュールに参加者全員が疲れ気味でしたが、体調不良や病気や怪我もなく、無事に視察を終えました。終日まで私達の視察をサポートいただいた3860地区のロータリアンの皆

様の熱い友情に感謝すると共に、国際奉仕のそしてWCS事業の素晴らしさを改めて認識する機会に恵まれた海外視察であったことを報告いたします。

追伸 今年度における委員会活動のひとつに地区内クラブの各会員に国際理解と平和親善をより推進いたしたく 2640 地区WCS海外視察を企画する予定で準備を進めて参りました。当初、タイ王国またはインドということで視察国を考えておりましたが、皆様ご存知の通り相手国の政情不安により委員会の判断により今年度においては取り止めと決定いたしました。今回の視察は、海南東RCが中心となって、同地区の8クラブが合同で計画していた 3860 地区のWCS支援に委員会が加わるといった形で実施しました。例年の地区全体の海外視察への参加を楽しみにされている会員の皆様には連絡が遅れたこととお詫びいたします。次年度においては地区をあげての海外視察を執り行いと考えております。5月10日の地区協議会においてクラブ委員長様にご報告いたしますのでご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

今回のWCS実施クラブ

支援先クラブ	支援クラブ
第 3860 地区	第 2640 地区
マボロRC	堺フェニックスRC
マクタンRC	新宮RC
マンダウエ・ノースRC	御坊南RC
セントラル・マクタンRC	御坊東RC
カンダヤ・タクロバンRC	田辺東RC
マンダウエ・イーストRC	りんくう泉佐野RC
マンダウエ・イーストRC	有田 2000RC
マンダウエ・イーストRC	海南東RC
マンダウエ・イーストRC	台湾・彰化東南RC (D-3460)





日韓親善会議にぜひご参加ください

日韓親善会議（日本側）委員長・元 RI 理事 今井 鎮雄
 日韓親善会議（日本側）運営委員 市川伊三夫

本誌 3 月等において日韓親善会議（韓国側）蔡委員長から、来る両国親善会議にぜひ日本側からなるべく多くの参加を、との熱烈な要請が掲載されました。

この親善会議は 1982 年に第 1 回が開催され、多くの方がご存じのように一時の中断はあったものの、回を重ねるに従って親善の実をあげ、第 9 回は 2007 年に青森で開催されました。

そのときはあいにく台風と遭遇し、飛行機、新幹線など、交通機関はまひ状態に陥ったにもかかわらず、台風を理由とした欠席者は皆無に近く、殊に韓国側出席者の中にはわざわざ一日予定を早めて出席された方々が多くあり、私たち日本側を感激させました。さて第 10 回の今回は、私たちが前回の好意に応え協力する番だと思えます。概要は下記の通りです。

日 時 2009 年 9 月 4 日（金）～5 日（土）
 場 所 グランド・ハイアット・ソウル
 大会予定 4 日 13:00 登録
 14:00 会議
 16:50 閉会
 17:30 晚餐会
 19:30 閉会
 5 日 9:00 登録

9:30 会議開始
 11:40 会議終了
 12:00 昼食
 13:10 記念講演
 15:05 閉会

登録料 2 万 2,000 円（登録料・晚餐会・昼食代を含む）

詳細にわたる会議次第、講師などは今後決定する予定ですが、韓国側は日本からできれば 400 人（前回 350 人）程度の出席をと期待しています。

21 世紀の世界情勢、アジア情勢を展望すると、近隣諸国との協調提携はその国の国勢発展に必須の課題です。一衣帯水の韓国との相互理解を深めるまたとない機会として、ぜひ多くのロータリアンや家族のご参加をお願いします。

なお第 11 回の大会は東京ディズニーランドにおいて 2011 年 9 月 2 日（金）～3 日（土）の 2 日間で行われる予定です。

申し込み・問い合わせ
 日韓親善委員会事務局（国際ロータリー第 2750 地区事務所）
 事務局長 松下 昌夫
 TEL03-3436-2750 FAX03-5472-2750

新入会員紹介

3 月



たなか たけじ
田中 武治

所属クラブ：堺北西南西RC
職業分類：自動車板金塗装
生年月日：1944年4月3日



むかい としゆき
向井 利之

所属クラブ：堺フェニックスRC
職業分類：建築
生年月日：1967年4月8日



たなべ かずき
田邊 和喜

所属クラブ：和歌山アゼリアRC
職業分類：弁護士
生年月日：1970年2月7日



ひろせ よしまろ
廣瀬 良麿

所属クラブ：和歌山南RC
職業分類：警備保障
生年月日：1960年9月26日



訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



おくだ まさのり
奥田 政典様 (松原RC)

2009年3月4日死去

在籍期間：34年

職業分類：自動車学校

ポールハリスフェロー：

ポールハリスフェロー

ベネファクター 1回

米山功労者：第4回 米山功労者 マルチプル

生年月日：1941年11月15日



しまむら のぶお
嶋村 信男様 (堺RC)

2009年3月19日死去

在籍期間：29年4ヶ月

職業分類：電鉄輸送

ポールハリスフェロー：

マルチプルポールハリスフェロー (1)

米山功労者：米山功労者 (3)

生年月日：1917年12月15日

PHF・ベネファクター（3月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
納谷 健太郎	3	羽曳野	高岩 弘至	1	羽衣
岩田 博生	1	羽衣	竹田 博	1	羽衣
谷野 一彦	1	羽衣	上南 雅延	1	海南東
米澤 清和	1	羽衣	大澤 徳平	11	堺
北中 登一	4	羽衣	嶽盛 和三	11	堺西
中谷 展朗	2	羽衣	梶岡 良造		和歌山南

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者（3月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
畑中 一伸	2	有田南	藤田 昌宏	3	和歌山東
田中 良典	5	有田南	山野 武彦	9	和歌山東

ハイライトよねやま 110号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

++ 今月のトピックス ++



2009年4月13日発行

1. 寄付金速報 — 2008-09年度もあと3カ月 —
2. 中国に学友会が誕生！
3. 現職の駐日韓国大使は米山学友
4. 「日本陶芸展」入選に輝く — 米山学友 張 義明さん —
5. 東京マラソンの給水ボランティア — 第2750地区 —

【お知らせ】奨学生／カウンセラーハンドブックができました

文庫通信 (260号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎ 「ロータリーの創立者ポール・ハリスをめぐって」 神崎正陳 (D.2570 地区大会) 2008 5P
- ◎ 「決議 23-34 の杞憂」 田中 毅 (D.2500 月信) 2009 9P
- ◎ 「ロータリーとは?～ロータリアンであることの意義～」 成川守彦 (D.2760 地区指導者育成セミナー) 2008 9P
- ◎ 「あなたは何故ロータリアンなのですか?」 中山義之 (D.2770 指導者育成セミナー講演録) 2008 19P
- ◎ 「パネルディスカッション『会員増強』」 大友恒則(コーディネーター) (D.2800 地区大会の記録特集号) [2009] 13P
- ◎ 「ロータリー知識クイズ」 (D.2830 西第一分区 IM 報告書) [2009] 3P
- ◎ 「ロータリーの職業奉仕」 安平和彦 (D.2680 職業奉仕セミナー) 2009 37P
- ◎ 「ロータリー財団『未来の夢計画』のパイロット地区申請にあたって」 小船井修一 (D.2500 月信) 2009 2P

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>



開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

第2640地区 出席報告 (2009年3月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	3月 出 席 率	平 均 出 席 率	クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	3月 出 席 率	平 均 出 席 率
	08.7.1	3月末	3月	累計	3月	累計					08.7.1	3月末	3月	累計	3月	累計			
有 田	36	36	0	0	0	0	3	88.89	89.58	大 阪 狭 山	5	5	0	0	0	0	3	86.67	94.12
有 田 南	33	32	0	0	0	1	5	95.17	97.47	りんくう泉佐野	27	27	0	2	0	2	4	67.95	74.56
有田2000	16	14	0	0	0	2	4	82.14	84.59	堺	79	79	0	2	0	2	4	85.25	87.15
藤井寺しゅら	16	16	0	1	0	1	4	95.30	91.80	堺 東	32	34	0	2	0	0	4	97.41	97.96
御 坊	53	53	0	1	0	1	3	90.58	92.34	堺 北 西 南 西	19	19	1	1	0	1	5	81.10	75.06
御 坊 東	20	20	0	0	0	0	3	78.33	86.53	堺 泉 ケ 丘	20	21	0	1	0	0	5	99.05	96.51
御 坊 南	28	28	0	1	0	1	5	78.71	84.43	堺 北	36	38	0	2	0	0	3	74.74	80.14
羽 曳 野	27	27	0	4	0	4	4	77.17	83.14	堺 南	33	31	0	0	0	2	4	83.04	83.74
羽 衣	22	23	0	1	0	0	4	84.77	90.73	堺 中	26	27	0	2	0	1	4	76.00	70.29
阪 南	13	13	0	0	0	0	4	100	99.75	堺 西	22	20	0	2	1	4	4	92.19	85.45
橋 本	54	53	0	1	0	2	4	80.21	89.90	堺おおいずみ	30	32	0	2	0	0	4	90.63	84.82
橋本紀ノ川	20	20	0	1	0	1	5	82.00	87.60	堺フェニクス	22	25	1	3	0	0	4	76.25	77.86
岩 出	28	28	0	0	0	0	3	86.91	91.87	堺 清 陵	24	22	0	0	0	2	4	93.75	94.89
和 泉	39	40	0	2	0	1	4	85.42	84.60	堺 泉 北	10	10	0	0	0	0	4	85.80	85.45
和 泉 南	33	34	0	1	0	0	4	57.35	63.17	堺 東 南	12	12	0	2	0	2	4	97.22	90.84
泉 大 津	50	51	0	1	0	0	3	75.36	77.37	泉 南	18	19	0	1	0	0	3	90.20	89.21
泉 佐 野	37	34	0	1	1	4	4	88.40	89.03	新 宮	57	56	0	2	0	3	4	81.25	83.83
海 南	45	42	0	0	0	3	4	67.26	70.17	白 浜	15	15	0	0	0	0	3	81.20	91.21
海 南 東	68	68	0	2	0	2	5	80.00	80.62	忠 岡	13	12	0	0	0	1	4	59.09	61.26
海 南 西	22	21	0	0	0	1	4	84.76	84.00	太 子	9	12	0	3	0	0	5	79.94	82.13
貝 塚	19	17	0	0	0	2	4	100	96.84	高 石	29	29	0	1	0	1	4	65.09	74.01
貝塚コスモス	21	21	0	0	0	0	4	84.52	87.21	高 師 浜	20	19	0	0	0	1	4	80.55	86.22
関西国際空港	32	30	0	0	1	2	4	76.67	72.09	田 辺	87	86	0	0	0	1	4	91.54	88.86
河 内 長 野	29	29	0	1	0	1	3	77.30	77.40	田 辺 は ま ゆ う	36	33	0	2	0	5	5	83.03	78.46
河 内 長 野 東	27	30	0	4	0	1	4	89.13	87.54	田 辺 東	50	46	0	0	1	4	4	83.81	84.92
岸 和 田	51	47	0	2	0	6	4	82.74	80.19	富 田 林	34	34	0	0	0	0	4	71.15	81.08
岸 和 田 東	54	55	0	3	0	2	3	92.67	93.03	富 田 林 南	21	21	0	1	0	1	4	75.00	79.64
岸 和 田 北	27	27	0	0	0	0	4	98.00	99.78	和 歌 山	75	73	0	3	1	5	4	84.09	85.96
岸 和 田 南	21	20	0	1	0	2	4	88.75	92.30	和歌山アゼリア	42	43	1	2	0	1	4	82.43	83.98
粉 河	19	19	0	0	0	0	4	96.05	97.41	和 歌 山 東	55	53	0	1	1	3	3	97.70	98.62
高 野 山	22	23	0	1	0	0	3	98.33	96.21	和 歌 山 城 南	38	40	0	3	0	1	4	83.57	90.32
串 本	9	11	0	3	0	1	5	69.09	71.28	和 歌 山 北	49	47	0	1	0	3	4	76.67	74.74
松 原	36	35	0	0	1	1	4	82.61	87.44	和 歌 山 南	86	90	1	7	0	3	3	86.22	86.56
松 原 中	25	25	0	3	1	3	3	66.70	76.50	和 歌 山 中	28	29	0	1	0	0	3	84.85	83.52
美 原	26	25	0	1	1	2	4	88.30	88.20	和 歌 山 西	22	22	0	0	0	0	3	95.45	95.45
那 智 勝 浦	20	21	0	1	0	0	4	73.75	71.73	和 歌 山 東 南	37	41	0	5	1	1	3	88.13	87.85
大 阪 金 剛	29	31	0	3	0	1	4	84.70	85.25										

クラブ	7月1日クラブ会員数				3月末クラブ会員数				3月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2229	女性	128	男性	2203	女性	138		3月	累計	3月	累計
73	2357				2341				82.65	4	94	10	98

5 月

1日	(金)		
2日	(土)	ライラセミナー	青少年海洋センター
3日	(日)	↓	↓
4日	(月)	↓	↓
5日	(火)		
6日	(水)		
7日	(木)		
8日	(金)		
9日	(土)		
10日	(日)	09-10年度 地区協議会	紀南文化会館(田辺)他
11日	(月)		
12日	(火)		
13日	(水)		
14日	(木)		
15日	(金)		
16日	(土)	岸和田RC創立 55 周年記念式典	岸和田グランドホール
17日	(日)		
18日	(月)		
19日	(火)		
20日	(水)		
21日	(木)		
22日	(金)		
23日	(土)	富田林南RC創立 20 周年記念式典 財団奨学生選考試験	天王寺都ホテル JA和歌山
24日	(日)	↓	↓
25日	(月)		
26日	(火)		
27日	(水)		
28日	(木)		
29日	(金)		
30日	(土)	地区役員・地区委員合同会議	むさし
31日	(日)	2009～10年度長期派遣学生への第4回オリエンテーション(保護者同伴) 2009～10年度短期派遣学生への第2回オリエンテーション(保護者同伴)	テクスピア大阪



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

勤 務 時 間 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 桃田 隆彦

事 務 職 員 山本千恵子 平田有紀子